

対馬海洋保護区しまうみ管理計画



対馬市水産資源管理計画【磯資源】

令和元年度 対馬管内漁協の水揚量モニタリング結果

令和2年11月

対馬市

■磯資源モニタリング結果（年別水揚量：2012年～2019年）

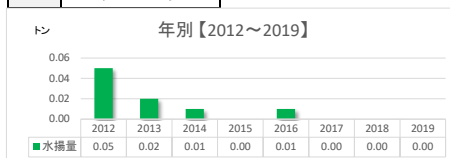
【2019年版】

対馬市

1 アオノリ



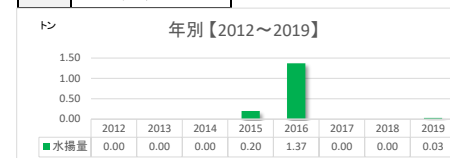
2 アマノリ



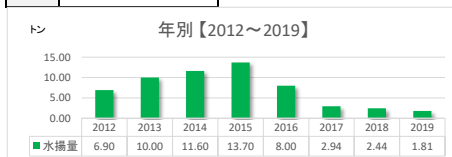
3 オゴノリ



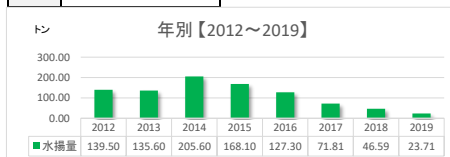
4 カジメ



5 テングサ



6 ヒジキ



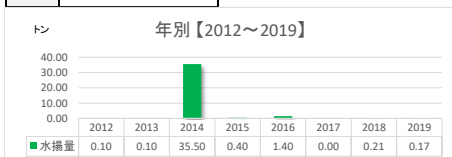
7 ヒトエグサ



8 フノリ



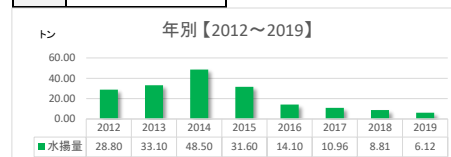
9 ワカメ



10 アサリ



11 アワビ



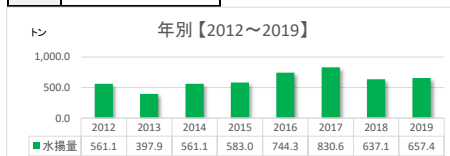
12 イシマテ



13 カキ



14 サザエ



15 トコブシ



16 ニナ



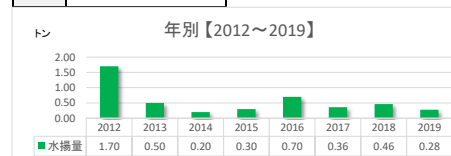
17 バイ



18 イセエビ



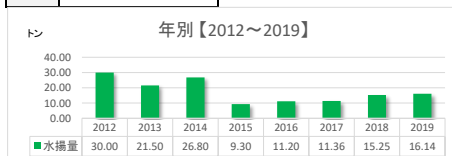
19 ウニ



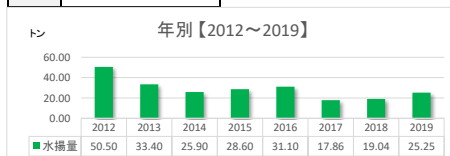
20 エムシ



21 タコ



22 ナマコ



(様式6)

■磯資源モニタリング結果（個別）

【2019年版】

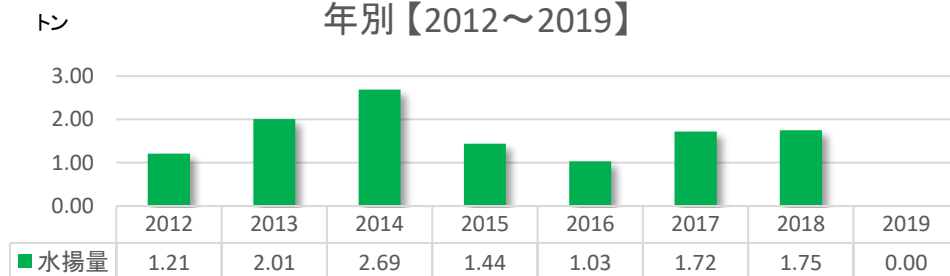
対馬市

1

アオノリ

モニタリング期間:2019年1月 ~ 2019年12月

年別【2012～2019】



コメント

水揚げするほどの資源量はなく、ほとんどが自家消費されている。
地球温暖化等の影響を受け、年々資源量は減少している。

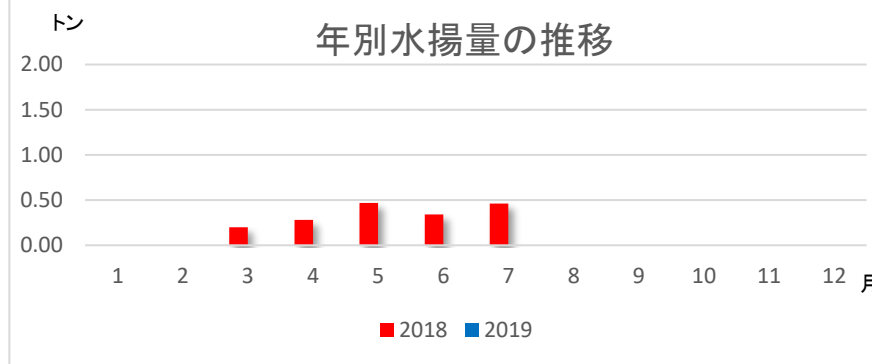
月別【2019年】



月別【2018年】

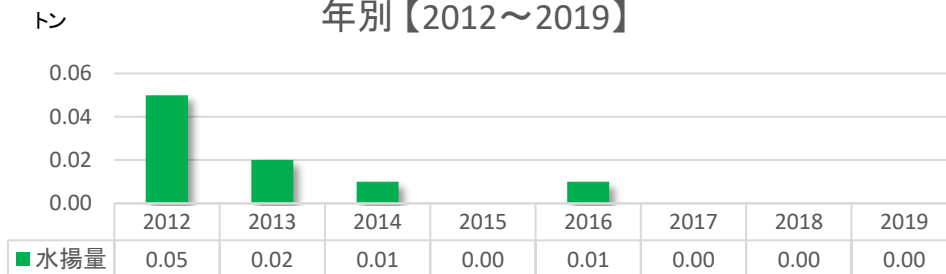


年別水揚量の推移



※第一種共同漁業権行使規則に記載されている水産資源を対象
※島内漁協の月別水揚げ状況によるモニタリング

年別【2012～2019】



コメント

水揚げするほどの資源量はなく、ほとんどが自家消費や小売り等で消費されている。
地球温暖化等の影響を受け、年々資源量は減少している。

月別【2019年】



月別【2018年】



年別水揚量の推移



※第一種共同漁業権行使規則に記載されている水産資源を対象
※島内漁協の月別水揚げ状況によるモニタリング

年別【2012～2019】



コメント

なし

月別【2019年】



月別【2018年】

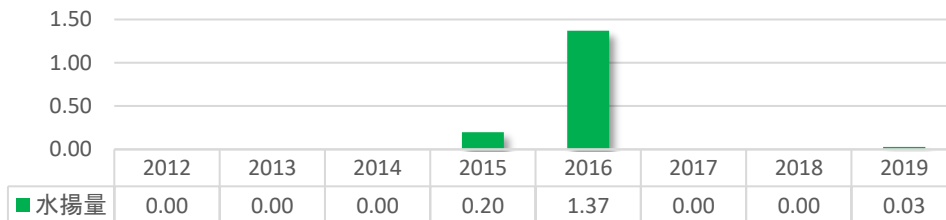


年別水揚量の推移



※第一種共同漁業権行使規則に記載されている水産資源を対象
※島内漁協の月別水揚げ状況によるモニタリング

トン 年別【2012～2019】

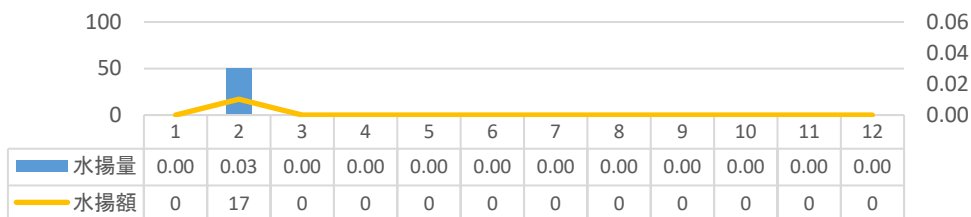


コメント

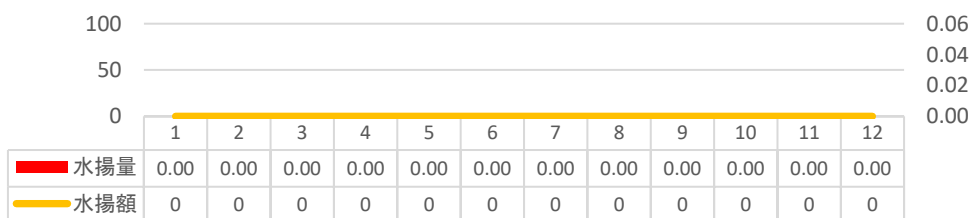
北東部に生息はしているものの、資源量は年々減少している。
北東部以外はほとんど見ない。
地球温暖化等の影響を受け、資源量は激減している。

主な水揚げ先：峰東部

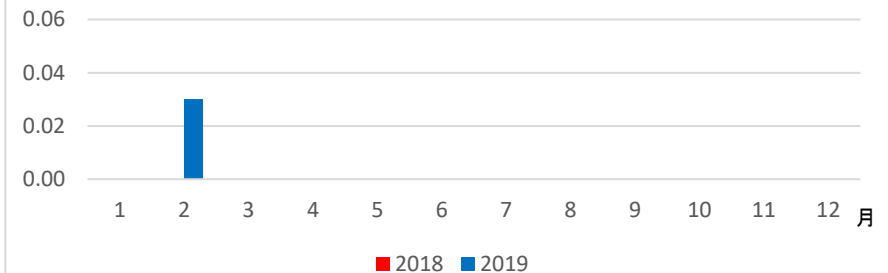
千円 トン 月別【2019年】



千円 トン 月別【2018年】



トン 年別水揚げ量の推移



※第一種共同漁業権行使規則に記載されている水産資源を対象
※島内漁協の月別水揚げ状況によるモニタリング

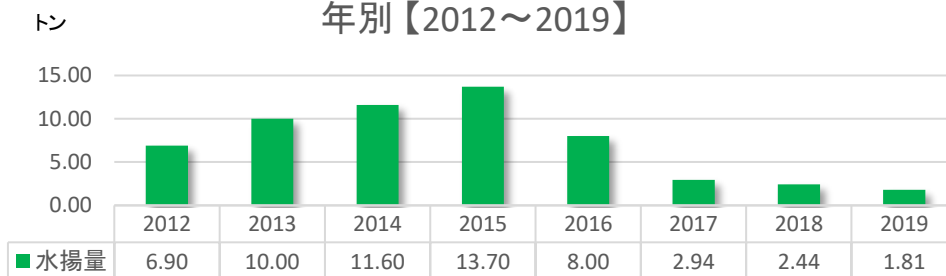


5

テングサ

2020年7月16日現在

年別【2012～2019】



コメント

全島的に生息していると思われるが、近年は激減している。
近年は安価となっているため採る人も減少している。

主な水揚げ先：高浜、豊玉、上対馬南

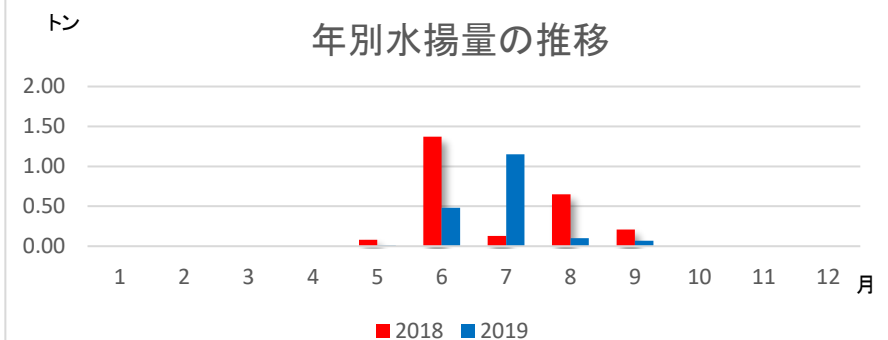
月別【2019年】



月別【2018年】



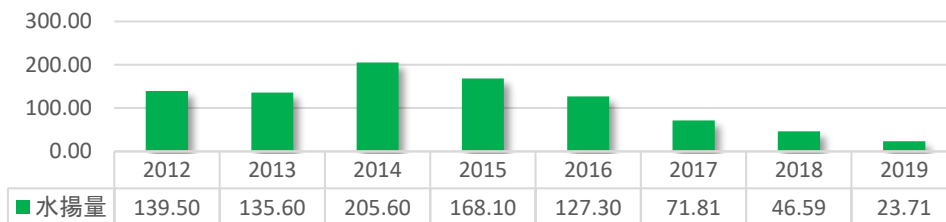
年別水揚量の推移



※第一種共同漁業権行使規則に記載されている水産資源を対象
※島内漁協の月別水揚げ状況によるモニタリング



年別【2012～2019】



月別【2019年】



月別【2018年】

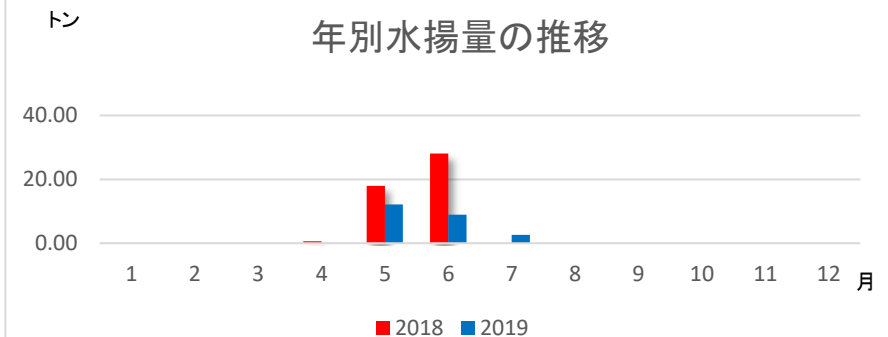


コメント

全島的に分布はしているが、近年は激減している。
新芽は出ているが、成長する前に食害魚等の影響を受けているため、
水揚げまでは至っていない。
近年激減している理由としては、特に食害魚による影響が強いと思われる。

主な水揚げ先：上対馬南、峰東部、上対馬

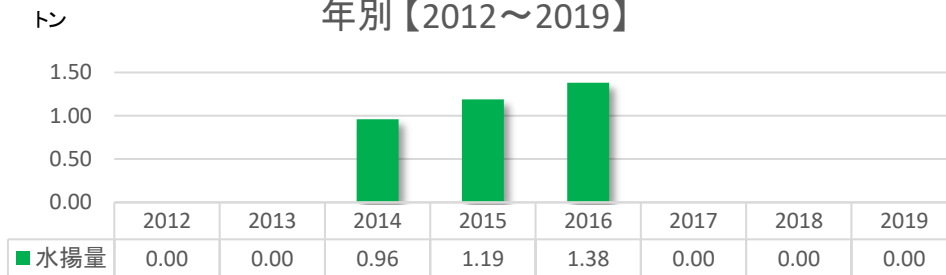
年別水揚量の推移



※第一種共同漁業権行使規則に記載されている水産資源を対象
※島内漁協の月別水揚げ状況によるモニタリング



年別【2012～2019】



コメント

なし

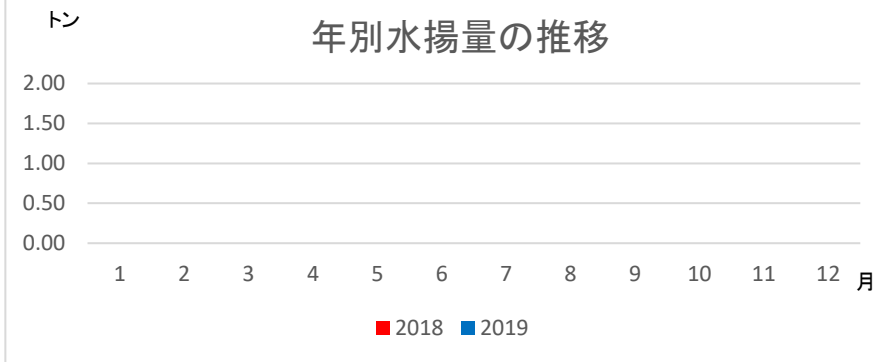
月別【2019年】



月別【2018年】

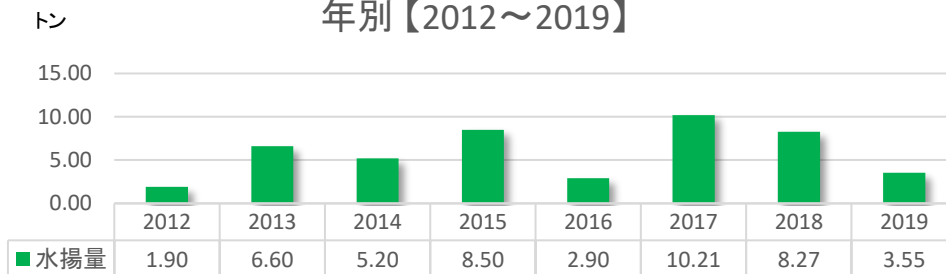


年別水揚量の推移

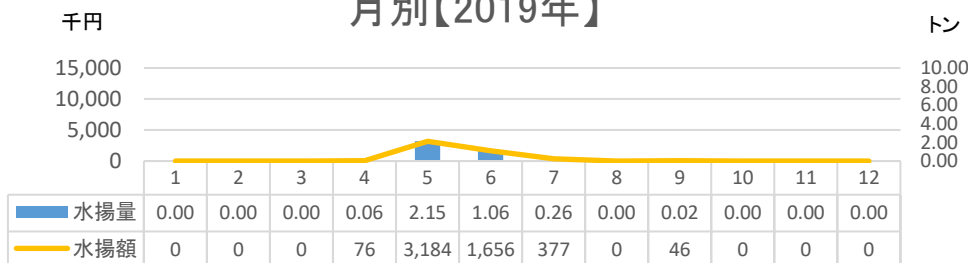


※第一種共同漁業権行使規則に記載されている水産資源を対象
※島内漁協の月別水揚げ状況によるモニタリング

年別【2012～2019】



月別【2019年】



月別【2018年】

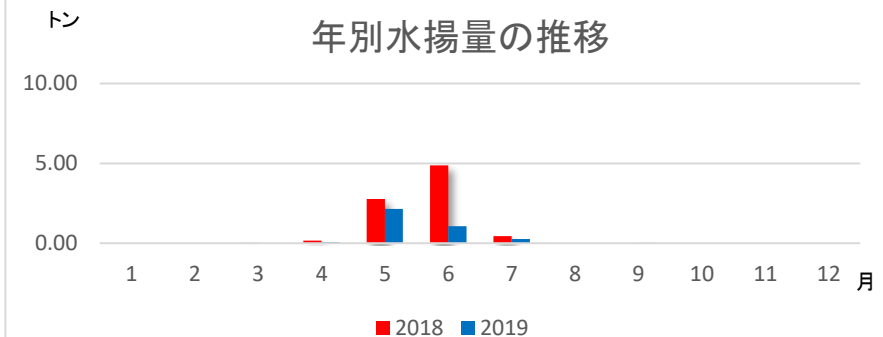


コメント

資源量としてはある程度、生息していると思われるが、採る人が少ないこともあり、水揚げも減少していると思われる。

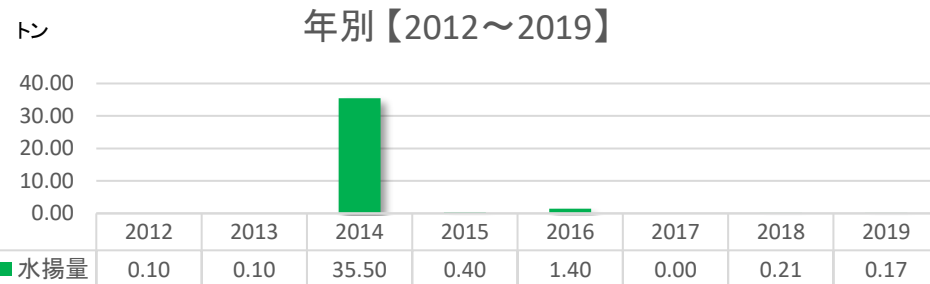
主な水揚げ先: 上対馬南、豊玉、佐須奈

年別水揚げ量の推移



※第一種共同漁業権行使規則に記載されている水産資源を対象
※島内漁協の月別水揚げ状況によるモニタリング

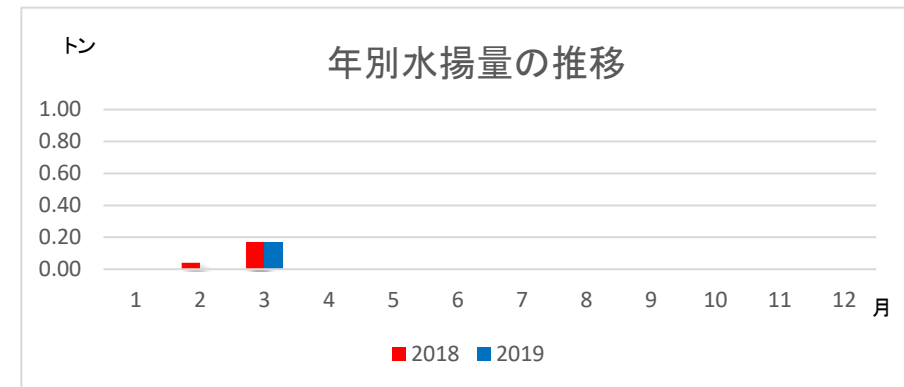




コメント

安価であるため、水揚げすることが少なく、自家消費されている。
北東部に生息はしているものの、資源量は年々減少している。
北東部以外はほとんど見ない。

主な水揚げ先：峰東部



※第一種共同漁業権行使規則に記載されている水産資源を対象
※島内漁協の月別水揚げ状況によるモニタリング

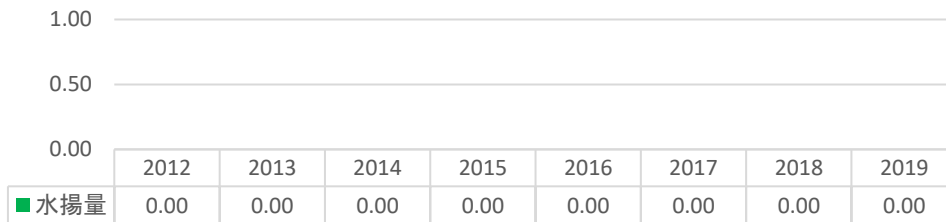


10

アサリ

2020年7月16日現在

年別【2012～2019】



コメント

なし

月別【2019年】



月別【2018年】



年別水揚量の推移



※第一種共同漁業権行使規則に記載されている水産資源を対象
※島内漁協の月別水揚げ状況によるモニタリング

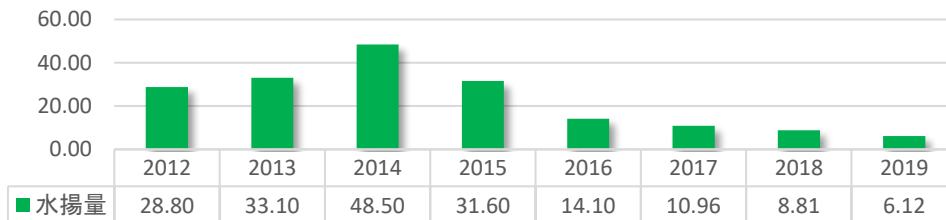


11

アワビ

2020年7月16日現在

トン 年別【2012～2019】

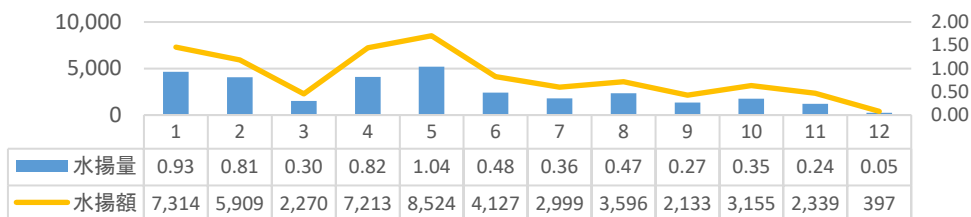


コメント

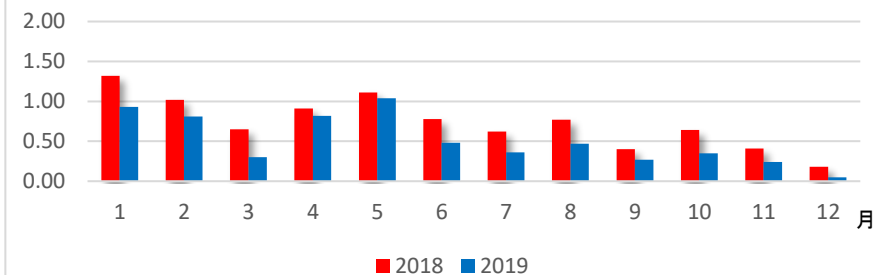
近年は身が痩せている個体が多く、資源量も激減している。

主な水揚げ先：峰東部、美津島、上対馬南

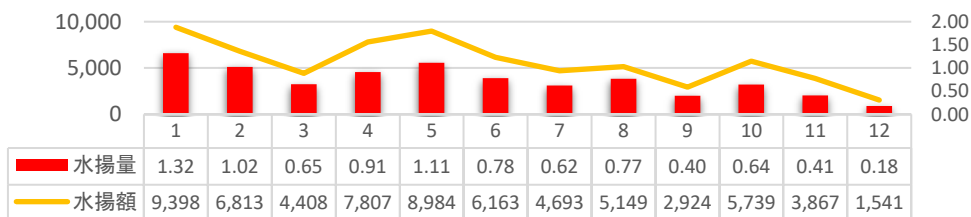
千円 トン 月別【2019年】



トン 年別水揚量の推移



千円 トン 月別【2018年】



※第一種共同漁業権行使規則に記載されている水産資源を対象
※島内漁協の月別水揚げ状況によるモニタリング



年別【2012～2019】



コメント

浅茅湾には見受けられるが、資源量は少なく自家消費されている。

月別【2019年】



月別【2018年】



年別水揚量の推移



※第一種共同漁業権行使規則に記載されている水産資源を対象
※島内漁協の月別水揚げ状況によるモニタリング

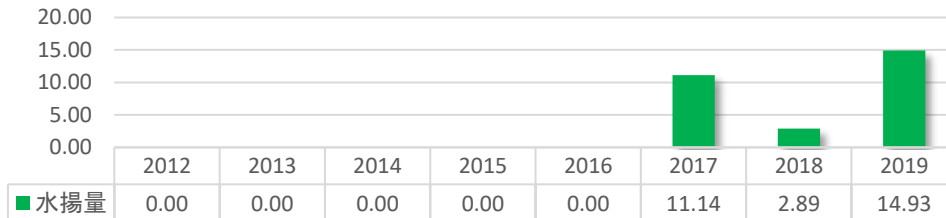


13

カキ

2020年7月16日現在

トン 年別【2012～2019】



千円 月別【2019年】



千円 月別【2018年】

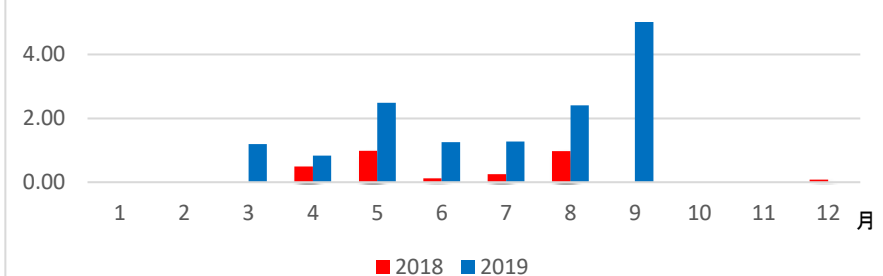


コメント

資源量は少なく、ほとんどが自家消費されている。
水揚げされているのはほとんど養殖物であるが、近年は養殖物の育ちもあまり良くない。

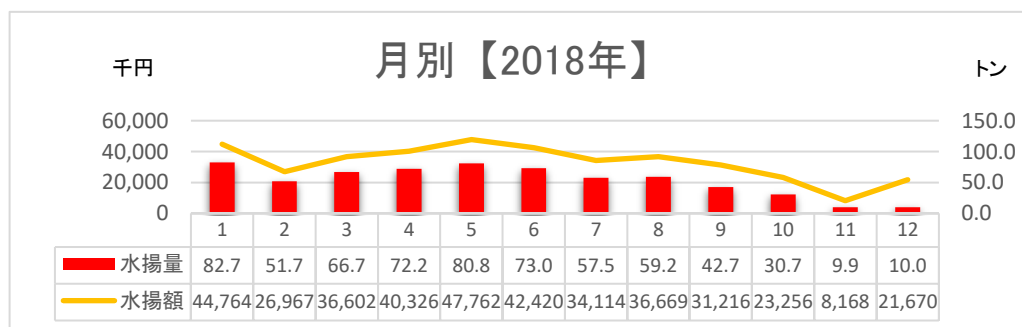
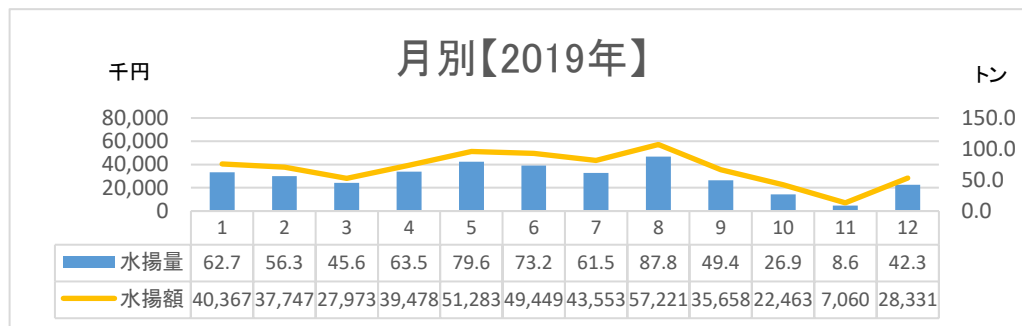
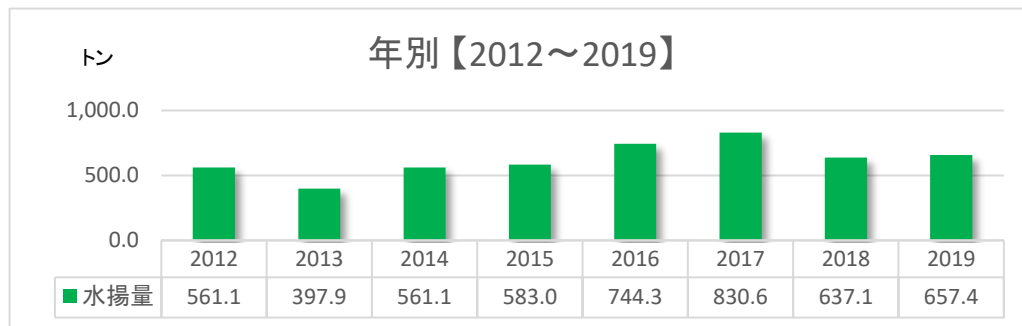
主な水揚げ先：美津島、豊玉、上対馬

トン 年別水揚量の推移



※第一種共同漁業権行使規則に記載されている水産資源を対象
※島内漁協の月別水揚げ状況によるモニタリング

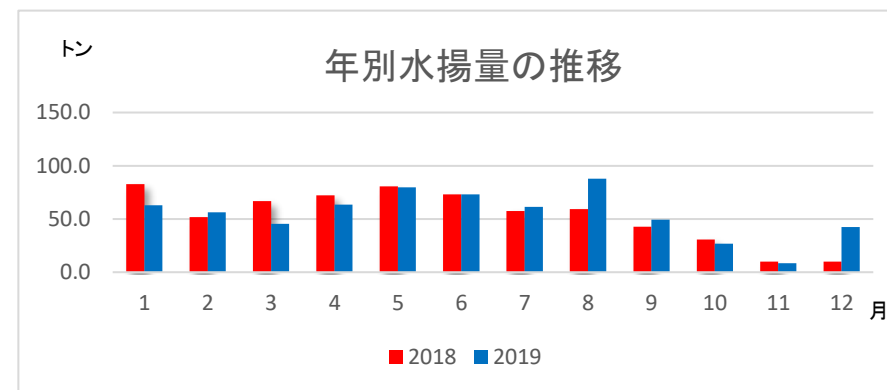




コメント

近年、価格も下落しており、安価となっているため採る人も減少している。
 痩せている個体も多く、消費も落ち込んでいる。

主な水揚げ先：上対馬、佐須奈、豊玉



※第一種共同漁業権行使規則に記載されている水産資源を対象
 ※島内漁協の月別水揚げ状況によるモニタリング

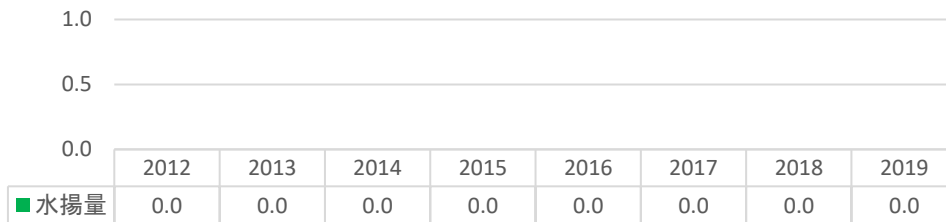


15

トコブシ

2020年7月16日現在

年別【2012～2019】



コメント

なし

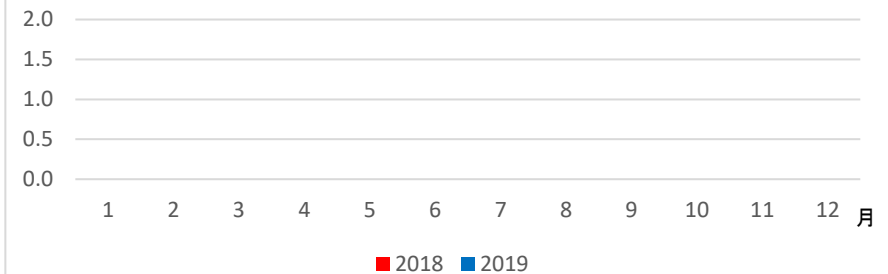
月別【2019年】



月別【2018年】



年別水揚量の推移



※第一種共同漁業権行使規則に記載されている水産資源を対象
※島内漁協の月別水揚げ状況によるモニタリング

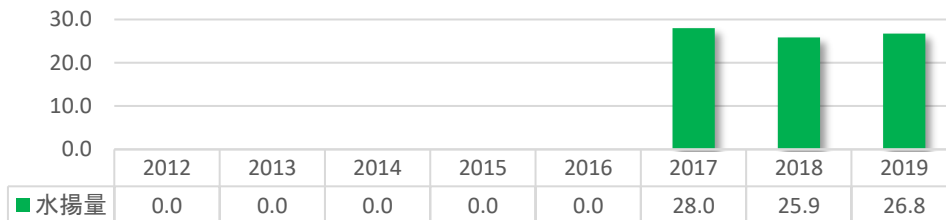


16

ニナ

2020年7月16日現在

トン 年別【2012～2019】

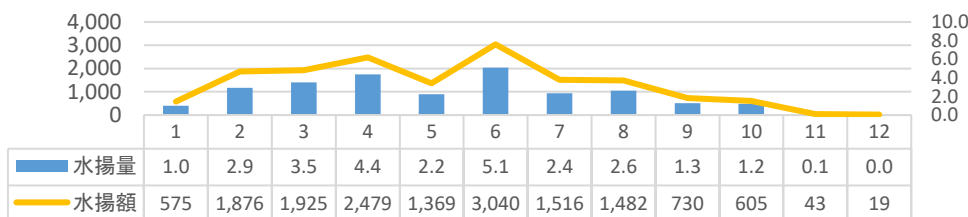


コメント

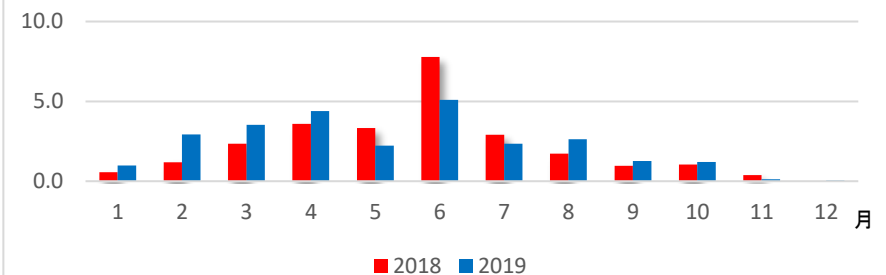
全島的に安定して生息していると思われる。
サザエの価格が下落しているため、代わりにニナを採る人が増えている。

主な水揚げ先：豊玉、美津島、伊奈

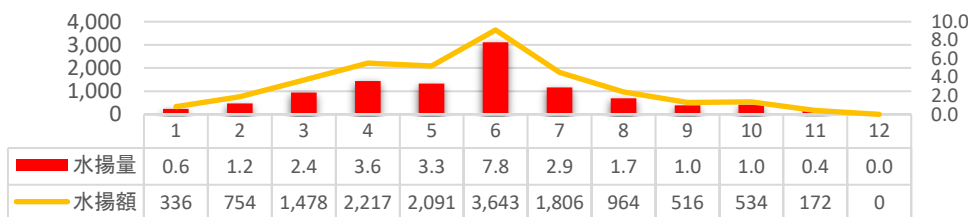
千円 トン 月別【2019年】



トン 年別水揚げ量の推移



千円 トン 月別【2018年】



※第一種共同漁業権行使規則に記載されている水産資源を対象
※島内漁協の月別水揚げ状況によるモニタリング

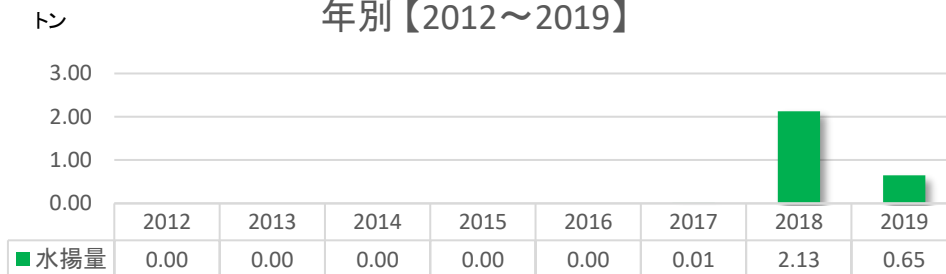


17

バイ

2020年7月16日現在

年別【2012～2019】



コメント

年々、資源量は減少している。

主な水揚げ先：佐須奈

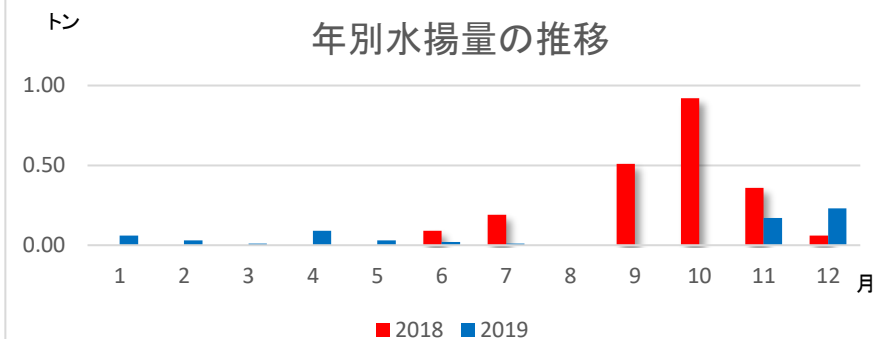
月別【2019年】



月別【2018年】



年別水揚量の推移



※第一種共同漁業権行使規則に記載されている水産資源を対象
※島内漁協の月別水揚げ状況によるモニタリング



18

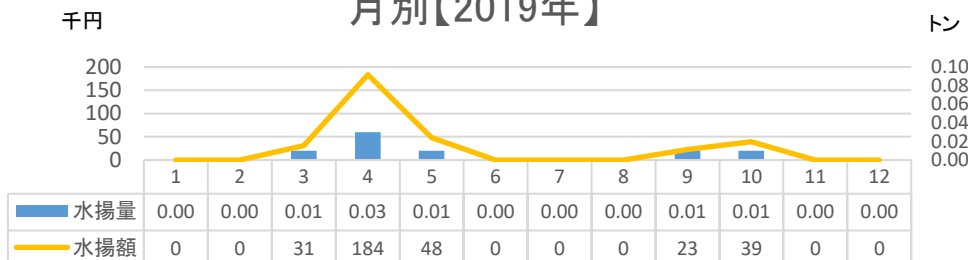
イセエビ

2020年7月16日現在

年別【2012～2019】



月別【2019年】



月別【2018年】

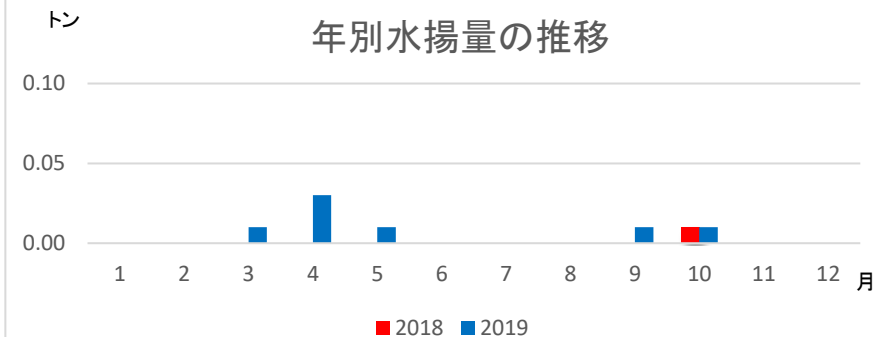


コメント

全島的に生息はしていると思われるが、資源量は少ない。
資源量が少ないこともあり、ほとんどが自家消費されている。

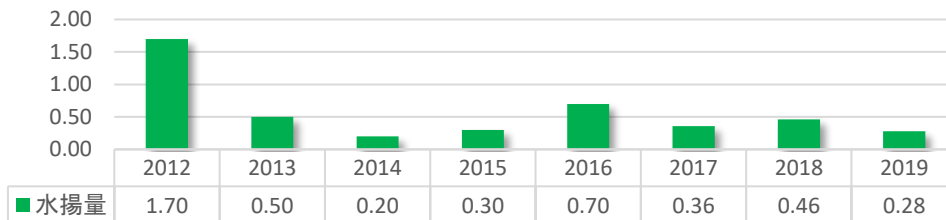
主な水揚げ先：伊奈、豊玉

年別水揚量の推移



※第一種共同漁業権行使規則に記載されている水産資源を対象
※島内漁協の月別水揚げ状況によるモニタリング

トン 年別【2012～2019】

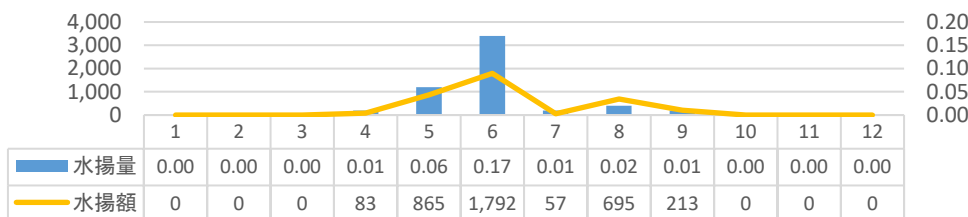


コメント

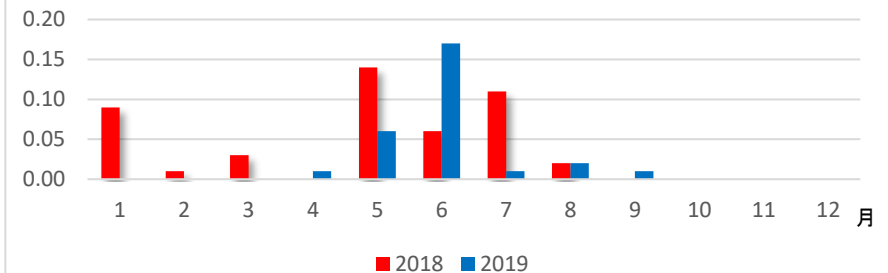
全島的に多く生息していると思われるが、藻場の減少等により身入りが悪いため、駆除等で間引きをしている現状である。
上記に理由等もあり、ほとんどが小売りや自家消費されている。

主な水揚げ先：上対馬、豊玉、美津島

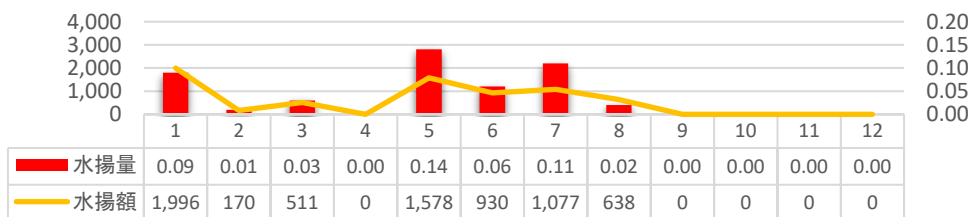
千円 トン 月別【2019年】



トン 年別水揚量の推移



千円 トン 月別【2018年】



※第一種共同漁業権行使規則に記載されている水産資源を対象
※島内漁協の月別水揚げ状況によるモニタリング

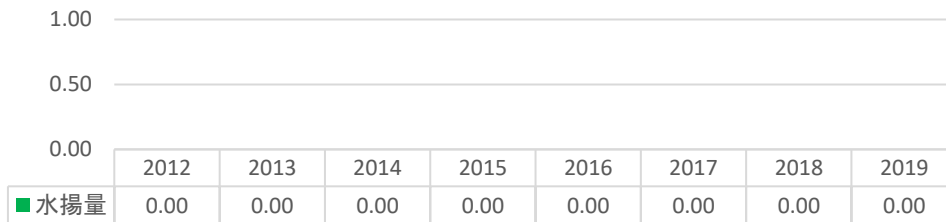


20

エムシ

2020年7月16日現在

年別【2012～2019】



コメント

なし

月別【2019年】



月別【2018年】



年別水揚量の推移



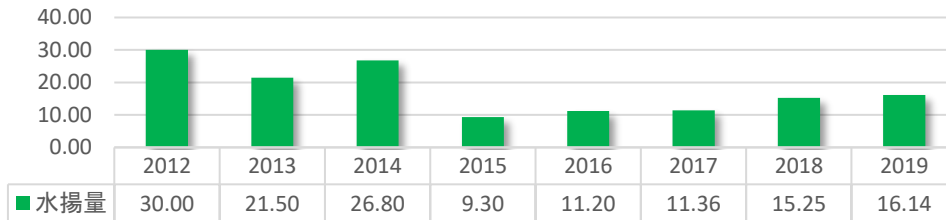
※第一種共同漁業権行使規則に記載されている水産資源を対象
※島内漁協の月別水揚げ状況によるモニタリング

21

タコ

2020年7月16日現在

トン 年別【2012～2019】

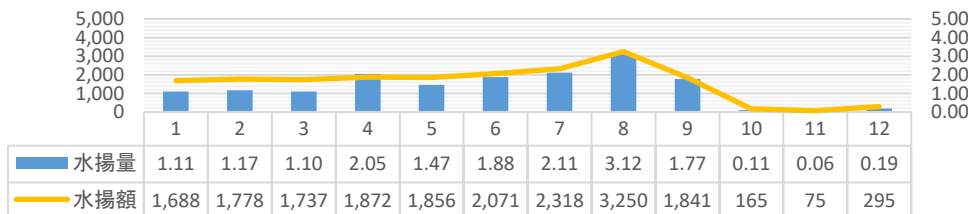


コメント

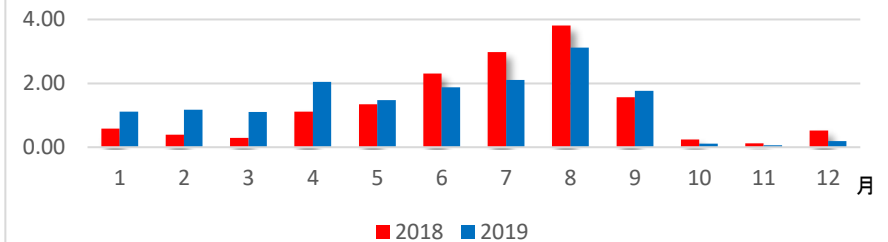
近年は資源量、価格ともに安定している。

主な水揚げ先: 上対馬南、上県、美津島

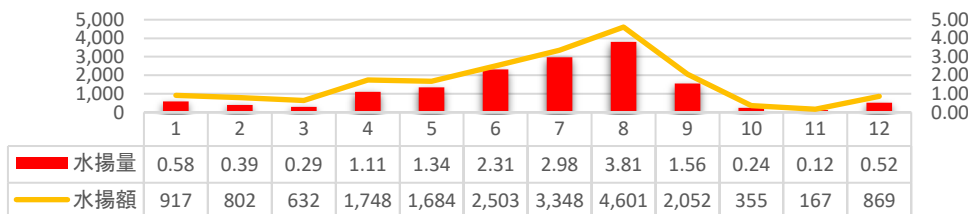
千円 トン 月別【2019年】



トン 年別水揚量の推移



千円 トン 月別【2018年】



※第一種共同漁業権行使規則に記載されている水産資源を対象
※島内漁協の月別水揚げ状況によるモニタリング

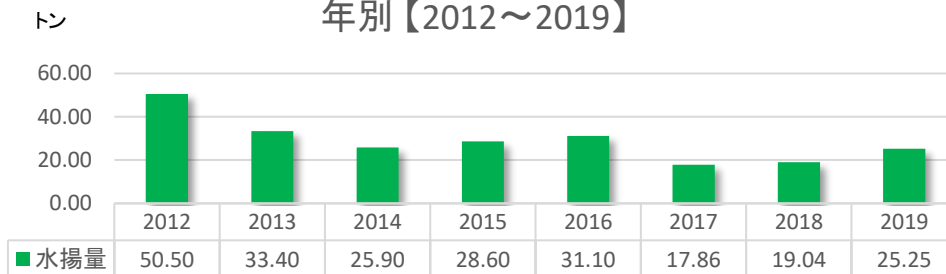


22

ナマコ

2020年7月16日現在

年別【2012～2019】



コメント

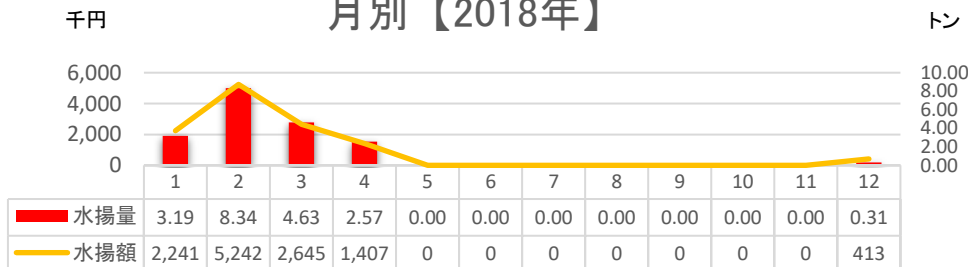
全体的に資源量は減少している。
それに伴い、採る人も減っている。

主な水揚げ先：豊玉、美津島、上対馬

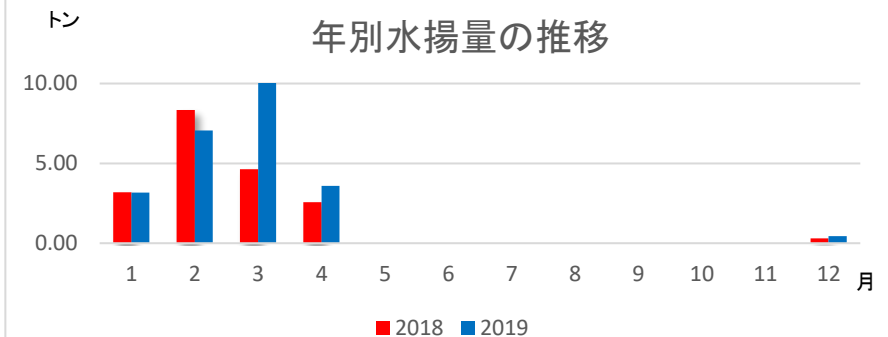
月別【2019年】



月別【2018年】



年別水揚量の推移



※第一種共同漁業権行使規則に記載されている水産資源を対象
※島内漁協の月別水揚げ状況によるモニタリング

